



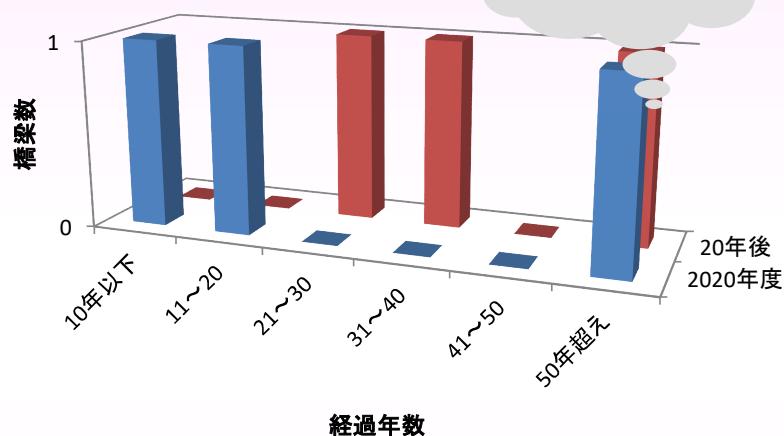
# 王寺町横断歩道橋長寿命化修繕計画

## 1. 背景・目的

### 背景① 高齢化横断歩道橋の増加に伴う今後の横断歩道橋修繕・架替えに係るコストの増加

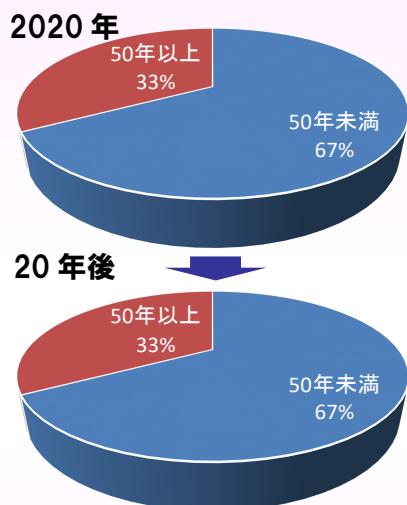
- 王寺町が管理する横断歩道橋は高度経済成長期に建設されたものと近年建設されたものがあります。建設後 50 年を超過した横断歩道橋を高齢化横断歩道橋と呼んでおり、現在および 20 年後には全体の 33%\* を占めることになります。
- 高齢化横断歩道橋の増加に伴い、高齢化横断歩道橋の安全性や信頼性を確保するためには、横断歩道橋の修繕・架替えに要する経費の増加が見込まれます。

#### ●令和 2 年度計画策定横断歩道橋 3 橋の橋齢分布



高齢化横断歩道橋が急増！

#### ●高齢化横断歩道橋の分布



\*上記の横断歩道橋数及び割合は、令和 2 年度計画策定横断歩道橋 3 橋によるものです。

### 背景② 今後の厳しい財政状況

- 現下の経済情勢による今後の税収動向の不透明さや少子高齢化の進展による社会保障費の増加などにより、今後、より一層厳しい財政運営を余儀なくされます。

### 目的：安全で安心できる道路橋の確保、コスト縮減及び必要予算の平準化

- 安全で安心して利用できる道路ネットワークを確保するため、横断歩道橋点検により管理横断歩道橋の現状を把握し、計画的かつ予防的な修繕を実施することによって横断歩道橋の長寿命化を図ります。
- 横断歩道橋の長寿命化を図りつつ、増大が見込まれる横断歩道橋の修繕・架替えに要する経費の縮減及び予算の平準化を目的とした横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定します。

## 2. 管理横断歩道橋の特色

○横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定するにあたっては、管理横断歩道橋の特色を把握し、それに見合った計画を立てることが重要です。

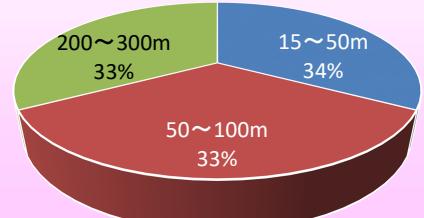
○管理横断歩道橋のうち、令和2年度計画策定横断歩道橋3橋については、以下の特色を有しています。

- 鋼橋（桁が鋼製の横断歩道橋）が全てを占めています。
- 横断歩道橋の長さが50m未満、50～100m、200～300mの横断歩道橋が存在します。
- 道路を跨ぐ横断歩道橋が2橋、駅に接続する横断歩道橋が1橋存在します。

●横断歩道橋の種類別の分布



●横断歩道橋の長さ別の分布



## 3. 横断歩道橋点検の結果

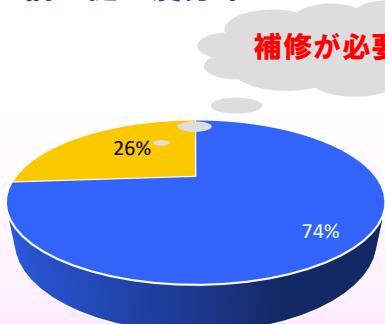
○横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定するにあたっては、横断歩道橋点検を実施し、管理横断歩道橋の現状を把握することが重要です。

○横断歩道橋点検の結果を踏まえて、横断歩道橋の健全度を100点満点で評価しました。

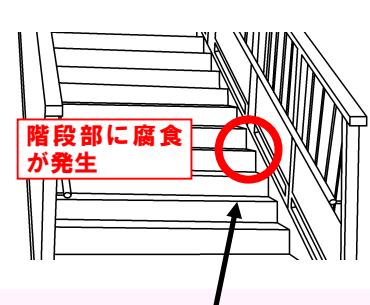
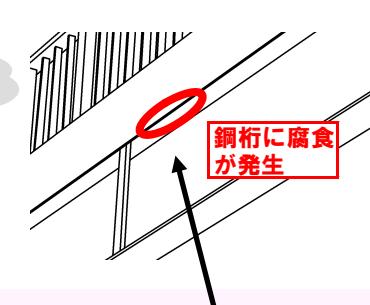
○管理横断歩道橋のうち、令和2年度計画策定横断歩道橋3橋については、大半が健全な状態でしたが、一部の横断歩道橋で補修が必要な損傷が確認されました。

●令和2年度計画策定横断歩道橋

3橋の健全度分布



●補修が必要な損傷



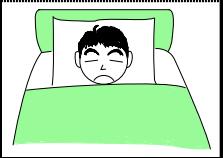
凡例	橋梁の状態
■ : 100～80	良好
■ : 80～60	
■ : 60～40	
■ : 40～20	
■ : 20～0	悪い



## 4. 横断歩道橋長寿命化とは・・

- 従来は、重大な損傷が見つかってから大規模で高価な修繕（事後保全）を行っていました。
- 人間が定期的に検診し、軽症時に治療することで重症化を防ぐとともに治療費も安価としているように、横断歩道橋も定期的に点検し、損傷が軽微な段階で修繕すること（予防保全）によって長寿命化を図るとともに修繕費を安価とすることが可能となります。

### ●予防保全の重要性（病気の症状との対比）

例) 人間		例) 床版	
症状	処置	状態	対策工法
健康	健康診断	ひびわれなし (健全)	定期点検
	 		
風邪の気配 (軽症)	うがい	1方向ひびわれ (損傷度: 小)	ひびわれの修復
			
風邪引き (やや重症)	風邪薬	2方向ひびわれ (損傷度: 中)	床版の補強
			
ダウン (重症)	入院・手術	ひびわれ貫通・角落ち (損傷度: 大)	床版の交換
			

日常生活への影響

大

小

予防保全

コスト・社会的影響

事後保全

大

## 5. 横断歩道橋長寿命化修繕計画の策定

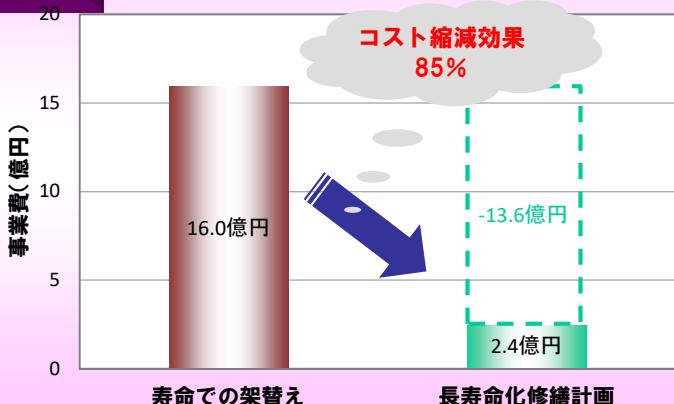
### 王寺町横断歩道橋長寿命化修繕計画策定の基本方針

- “安全で安心できる横断歩道橋”を確保するため、補修が必要な損傷が発生している横断歩道橋の対策を最優先に実施します。
- 各横断歩道橋の社会的な重要性や損傷の程度を総合的に評価し、対策の優先順位を付けることによって、平準化した予算計画を作成します。

## 6. 横断歩道橋長寿命化修繕計画による効果

○横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づいて適切な時期に対策を実施することによって、寿命での架替えを実施した場合と比べて、約8割のコスト縮減が見込まれます。

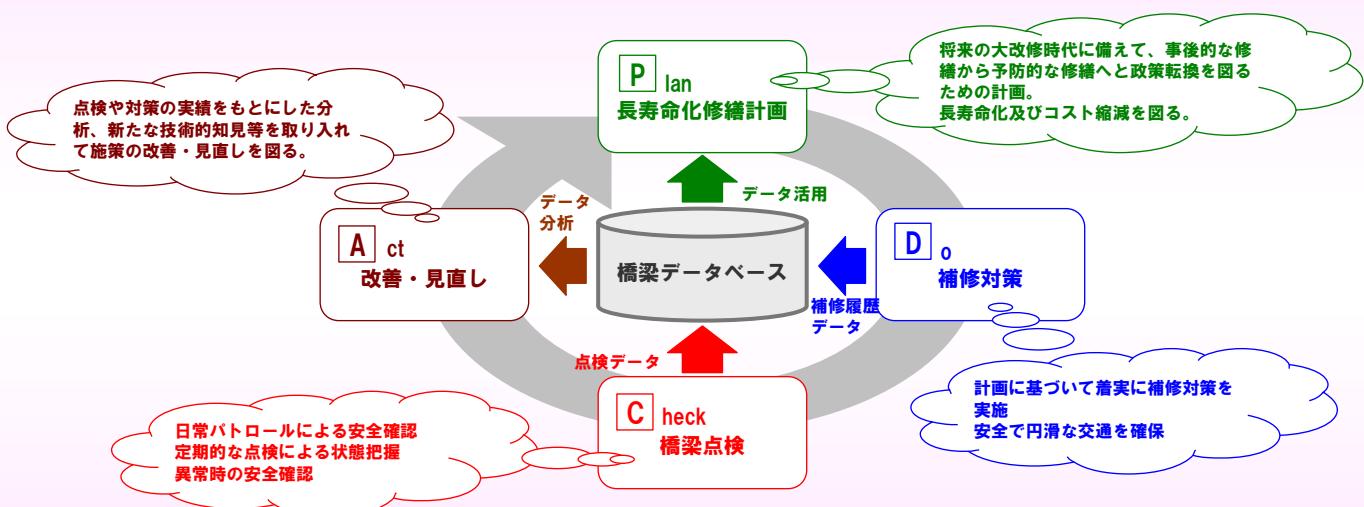
### ●今後50年間の総事業費の比較 (令和2年度の試算結果)



## 7. 今後の維持管理体制

○王寺町では、今後、下記に示すPDCAサイクルによる維持管理体制を構築し、横断歩道橋の長寿命化及び維持管理コストの縮減に努めていきます。

### ●今後の維持管理体制(PDCAサイクル\*)



\*PDCAサイクルとは、事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つの考え方であり、業務の継続的な改善を図るのに効果的です。横断歩道橋の維持管理においても、これを応用することで継続的な維持管理体制の構築を目指します。

## 8. 長寿命化修繕計画策定部署及び問合せ先



王寺町 地域整備部 建設課

王寺町王寺 2-1-23

TEL : 0745-73-2001

FAX : 0745-32-6447